



平成29年1月16日

各 位

会 社 名 株式会社プロパスト
代表者名 代表取締役社長 津江 真行
(コード:3236、JASDAQ)
問合せ先 取締役管理本部長
兼経営企画部長 矢野 義晃
(TEL. 03-6865-3100)

平成29年5月期 第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

平成28年7月11日付「平成28年5月期 決算短信」において公表いたしました、平成29年5月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

なお、平成29年5月期通期業績予想については、修正はございません。

記

1. 平成29年5月期 第2四半期（累計）業績予想と実績値との差異

(1) 業績予想と実績値との差異（平成28年6月1日～平成28年11月30日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	8,604	679	366	311	円 銭 11.00
今回の実績値 (B)	7,631	585	382	364	12.89
増減額 (B-A)	△972	△94	15	53	-
増 減 率	△11.3%	△14.0%	4.3%	17.2%	-
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年5月期第2四半期)	5,473	395	231	248	9.35

(2) 差異の発生した理由

平成29年5月期の第2四半期累計期間の売上高については、前回予想値を972百万円下回る7,631百万円となりました。主な要因としては、バリューアップ事業が当初計画を518百万円下回る4,816百万円で着地したことに加えて、分譲開発事業が当初計画を455百万円下回る1,570百万円で着地したことによるものです。バリューアップ事業が当初計画を下回った要因としては、一部のプロジェクトにおいてバリューアップに伴う工事の進捗が遅れたことに伴い、販売開始時期が遅れたことによるものです。また、分譲開発事業が当初計画を下回った要因としては、一部のプロジェクトの販売開始時期が遅れたことに伴い、販売進捗が当初計画を下回ったことによるものです。

営業利益については、前回予想値を94百万円下回る585百万円となりました。上記の理由により、バリューアップ事業のセグメント利益が当初計画を31百万円下回る564百万円で着地したことに加えて、分譲開発事業のセグメント利益が当初計画を58百万円下回る159百万円で着地したことによるものです。

経常利益については、前回予想値を15百万円上回る382百万円となりました。これは、金融機関からの借入条件が改善したこと等により、営業外費用が当初計画を下回ったことが寄与しております。

四半期純利益については、前回予想値を53百万円上回る364百万円となりました。これは、減損済み固定資産を売却したことに伴い損金が増加したため、法人税額が当初計画を下回ったことによるものです。

以上